

たかが1mとあなどるな(かがめば深い)



溝掘削での生き埋め災害は
2m未満が圧倒的に多いです

バックホウのオペレータ

ブームを上げたまま
運転席から離れることは
やめてください

掘削勾配を確保しましょう

掘削深さは浅いですが
かがんでしまえば全身が
埋まる恐れが生じます

指摘事項

掘削深さが1.5mと浅いため、設計も土止め無しのオープン掘削でしたがこの写真のように溝の中でかがんでしまえば、崩壊したときに全身が埋まる恐れも十分あります、事実土砂崩壊で生き埋めになった死亡災害は圧倒的に2m未満の掘削深さの箇所が多いのです。

立ち上がれば頭がでる深さでも、かがめば全身埋まる深さということを忘れてはいけません

是正方法

写真を見てもわかるように掘削勾配は垂直です、崩壊防止のためには法勾配をとることが有効ですが、↑場場所が狭いわけではないので勾配が取れるはずですが設計でオープン掘削とはなっていますが「オープン掘削＝掘削勾配確保」であり垂直に掘削する設計ではないはずです。

安衛法では

90度の垂直掘りが許されるのは「岩盤、堅い粘度の地山は高さ(深さ)5mまで」「その他の地山は高さ(深さ)2mまで」
但し砂による地山、及び砂の層がある場合は掘削勾配を35度以下にすること